

日社福士 2021-623

2022年3月23日

厚生労働省社会・援護局
福祉基盤課福祉人材確保対策室
室長 田中 義高 様

公益社団法人 日本社会福祉士会
会 長 西島 善矢



社会福祉士国家試験の在り方に関する意見

この度、公益財団法人社会福祉振興・試験センターから発表された「第34回社会福祉士国家試験の合格基準及び正答について」によると、今回の合格基準点は、「総得点 150 点に対し、得点 105 点以上の者」（総得点の 70%）とされ、これまでの合格基準である総得点の 60%程度の基準と比較しても 10%以上の乖離が生じています。

公表された内容では、「問題の難易度で補正した」という記述のみであり、10%以上も補正した根拠が不明確であるため、恣意的に合格基準点を変更しているように受け止められます。

そのため、一部の受験者から本会に対して、合格基準の変更に対して十分な説明を求める要望をはじめ、公平な試験のあり方を求める意見が寄せられているところです。

つきましては、今後の試験実施あたっては、大幅な難易度補正等により、受験者への混乱が生じることのないよう、試験問題の作問、合格基準等のご検討をお願いします。